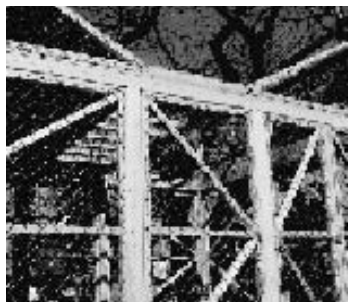
方針に対する
一般質問



市民との協働で魅力と活力あふれる西東京市の建設を

西東京市議会公明党

新井五郎　岩越笙子　衣袋一夫　高橋司朗　佐々木順一　鈴木宏一　麦倉一眞　田崎敏男

質問 西東京市として2年目に入った。合併効果や市民の方の窓口評価、今後の財政と政策課題等、目に見えた形で示すべきと思うが。

答弁 平成14年度は新市建設計画の基本理念の実現に向け総事業費96億円、39の事業を進めていく。さらに合併効果として、議員を初め特別職の削減や消防委託費の減などがある。3月23日からコミュニティバスが姿を見せると大きな効果が出ると思う。子ども議会の質問と答弁は今も私の机の中にある。21世紀を担う子どもの考え方を宝物としていきたい。子ども議会は今後も継続していきたい。窓口の評価は、昨年行った市民意識調査では「満足・やや満足」が50・9％、「やや不満・不満」が30・2％だった。市税徴収率の拡大については、納税秩序の確立と税負担の公平の実現を基本として取り組む。西東京市総合計画は、策定審議会より平成15年度に答申をいただく予定。

質問 地域福祉計画、高齢社会の対応、子育て支援、痴呆性グループホームの建設、そして基幹型介護支援センターの建設を進めよ。

答弁 介護保険に移動するなど、地域型の高齢者の支援センターを充実させることは大事だ。基幹型介護支援センターは平成14年10月の開設を予定している。開設時期は明言できないが、ともに市の直営型で運営していきたい。地域福祉計画は保健福祉の総合的な計画と位置づける。痴呆性グループホームは市内の社会福祉法人やNPOを市が補助する形で運営する予定。保育園・児童館の耐震診断は、他の事業が犠牲になっても優先的に進める。乳幼児健診時のブックスタートは検討していく。千駄山都営跡地のスポーツ公園化は都に相談してみたい。市体育館の建てかえについては、要望を十分加味していく。

質問 男女平等参画計画、屋上緑化、リサイクルプラザの建設、カラス対策、街区表示板の張りかえなどの現状と対策を聞く。

答弁 男女平等参画計画は16年度の実施を目途に計画案の検討をする。屋上緑化はヒートアイランド現象の防止策に有効な手段だと考える。ごみのことを真剣に考えていただく意味でリサイクルプラザの建設を進める。カラス対策は都が1月に芝久保浄水所に保護トラップを設置した。効果を確認したい。街区表示板は13年度が864街区の設置、14年度ですべて終わる。

質問 地域防災計画、市民防災組織、防災設備等の強化と、ITと地域情報、電子投票について。

答弁 地域防災計画は防災会議を立ち上げ検討する。環境基本計画の策定は、今定例会で環境基本条例が通った後に進める予定。市民防災組織は現在54団体。倍増を目指す。防火貯水槽や倉庫の拡大に努める。公共施設予約システムは血の通う温かみのある方法ができればよいと思う。電子投票は機器が高価で保存場所が必要だが検討していく。SOHO（スモールオフィス・ホームオフィス）や電子入札、PFI（民間資金の活用）も検討していく。

質問 西原第二小学校の跡地利用、中学校給食、少人数学級、週5日制、文化財の発掘と保護、青嵐中の建てかえ、通学路の点検、学校トイレの改修について。

答弁 跡地利用は教育委員会内部で検討中。平成15年上半期には一定の結論を出したい。中学校給食はデリバリー方式で2校を試験的に実施できるよう進めている。少人数学級は国・都の動向を見ながら検討していく。学校5日制の受け皿づくりは早急に手を打ちたい。教室へのエアコンは難しいが、小学校低学年の教室には扇風機をつけられないか考える。文化財はできれば市の財産として保存したい。青嵐中の建てかえは前倒しで計画する予定。通学路は学校ごとの点検をする。トイレの改修は大規模改修のときや耐震補強のときに検討する。

税金は住民生活を応援する使い方に切りかえ、商店街、中小企業の支援対策を

日本共産党西東京市議団

葉原時美　大川真理　保谷清子　朝倉文男　高梨　功　倉根康雄　安斉慎一郎　武藤朝子

市の借金が700億円、だれが払うのか

質問 施政方針の柱は、公共事業の推進だが、保谷・ひばりヶ丘駅南口の再開発は、その内容、市財政の使われ方など順次情報公開し、課題を住民に明らかにせよ。

また、電子市役所づくりを急いでいる。だれのためか、今でも10億円経費がかかっている。慎重に考えよ。

市長 保谷駅南口は、かえで通りの拡幅が先決であり、14年度に仮事務所をつくりスタートさせたい。

ひばりヶ丘駅南口は、商業、住宅、公共施設を配置した市街地整備を促進させたい。

電子市役所は、メリットがたくさんある。市民講習等で、情報化に乗りおくれないように目指したい。

住民参加は形式的なものか

質問 施政方針の柱は、市民参加の推進だが、住民には当然の権利だ。

ごみの収集回数を減らす問題やリサイクルプラザ問題等で、市長の言う市民参加に疑念が出されている。市民の意見と市長の意見が違う場合はどうするのか。

市長 市民の意見が反映できない部分は、その理由を公開し、市民の理解を得る努力をする。

施政方針の柱は雇用、福祉、教育、商工振興ではないか

質問 市は、福祉、教育、道路、清掃等の部門で雇用を計画的に進めよ。

市長 限界があるが、雇用の拡大に努めたい。

質問 子育て支援が求められている。

北原・住吉・ひばりが丘児童館等の建てかえを具体化せよ。

特に、向台学童クラブは、第二学童をつくれ。

市長 建設後20年以上経過した施設を検査、耐震調査を含め改修を行いたい。

質問 痴呆の早期検診を位置づけ、脳リハビリ対策を急げ。介護保険の利用料が高いため、サービスの利用を抑える等の問題がある。高齢者福祉を充実せよ。

知的障害者は、就労の機会が困難だ。世田谷区のようなセンターをつくれ。

市長 痴呆の状況をいかに早くキャッチするかがポイントだ。対応したい。10月1日に直営の基幹型支援センターをオープンさせる。障害者の生活、就労を支援するセンターに努力したい。

保健福祉部長 知的障害者の就労は、先駆的事例を参考に検討する。当面、障害者プランを策定し、計画的な行政を進める。

市長 統一に向けては、慎重に検討せよ。

市長 保谷町5丁目に1千

中学校給食は市の責任で、青嵐中の建てかえを早めよ

質問 試行する中学給食のデリバリー方式は、弁当を販売するだけか。教育との関連はどこにあるのか。青嵐中の建てかえは、特別な対応をとり、16年度建設を。

教育長 業者がつくった弁当を食べることだ。行政が責任を担う場を確保したい。青嵐中の建てかえは、14～16年で準備、17～18年度で建設する。

通学区域の自由化は市民の意見を慎重に聞け

質問 市内小中学校の通学区域を自由にすることは、学校同士を競わせ、学校統廃合につながるが、何の目的で行うのか。来年度の実施に向け急いでいるが、教育のあり方や市民参加からも許せない。

教育長 合併に伴う地域でやったから、違和感はない。

中小建設業5％助成を含め振興計画をつくれ

質問 地域経済の深刻さは、個人消費を冷え込ませているからだ。敬老金の70歳全員支給に復活させる生活支援と商工業の振興プランを具体化せよ。

市長 敬老金は、現行のまま、関係者が積極的にやってほしい。

大型道路より生活道路と歩道の整備を急げ

質問 幅36m道路は、総額幾らかかるのか。分断する市道は何本あるのか。市民の要望は地域の市道を広げ、歩道を整備することだ。

市長 危険な箇所は緊急に整備する。都市計画道路整備に伴う市道整備をする。

都市整備部長 909億円の全体事業費だ。分断される道路は、36本の生活道路。

質問 この4月より新学習